



クローズアップ

日光人



おおしま
大嶋

ひろみ
浩美さん

今市本町 在住

日光観光大使のピアニスト

ピアニストで日光観光大使の大嶋浩美さんを紹介します。
大嶋さんがピアノとバイオリンを始めたのは3歳のとき。物心付いた時には、すでに自宅のピアノを弾いていたそうです。
宇都宮女子高時代はオーケストラ部に所属しますが、化学が好きだった大嶋さんは、理系の大学に進学することを目指していたそうです。音楽大学受験を決めたのは高校3年生のときで、本格的にプロの道に進もうと決意したのは東京音楽大学入学後とのことです。
「周囲は小さい頃からピアノに人生をかけている人たちが多く、大変でした」と入学当時を振り返り

ます。
大嶋さんは、大学4年生のときに日本最大のクラシック音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン」に出演しました。演奏時間は30分程度だったそうですが、一般の人にピアノを聴いてもらう最初のきっかけになったそうです。
「お客さんたちから、あつという間の30分でとても楽しかった、と言葉を頂いた時は、とてもうれしかったです」と大嶋さん。この演奏会を通して、観客の心をつかむ演奏法について学んだそうです。
その後、同大学院を卒業後、アメリカのシカゴを中心に欧米へ2年間の音楽留学をし、平成26年4月に地元日光市に戻ってきました。10月には、日光田母沢御用邸記念公園秋の音楽祭「大使の奏でるハーモニー」、12月には、世界遺産「日光の社寺」登録15周年記念シンポジウムで演奏しました。
音楽を通して、日光と世界の都



演奏中の大嶋さん

市の懸け橋になりたいと語る大嶋さんは、国内外で演奏会を精力的にこなしながら、講演活動や後進の指導にも当たっています。
大嶋さんはピアノ演奏の魅力について、その場でしか味わえない「生の音」を楽しめることだと話します。「最近では、音楽をパソコンでダウンロードして聴く機会も増えました。しかし、生演奏の音を完全に機械で再現することはできません」と熱く語ります。
「ピアノは演奏者の全てが音に表れます。作品の世界観を、聴いている人に伝わるような演奏をしていきたいです」と話す大嶋さん。ピアノに対する情熱を感じました。

紹介したい人、サークルを募集しています

クローズアップ日光人では、活躍している人、サークルを紹介しています。このコーナーで紹介したい人やサークルの情報がありませんでしたら、ぜひお寄せください。
※掲載にふさわしくない活動内容が含まれている場合、紹介をお断りすることがあります。
連絡先及びびくわしくは
秘書広報課 広報広聴係
☎(21)5135

まちの
ほっと NEWS



日光産業団地完成式

3/7 今市

知事や市長など、約50名が産業団地の完成を祝いました。団地は土沢インターチェンジから車で5分の位置にあり、16・1ヘクタール内に大小14の区画を設けています。立地第1号はとちぎコープ生活協同組合に決定しました。市長は「今後も企業誘致に取り組み、産業振興と雇用創出につなげたい」と祝辞を述べました。



文・写真：商工課企業立地室

防災訓練

3/8 日光

震度6弱の地震発生を想定した市総合防災訓練を、日光地域の小来川地区で行いました。
訓練には、175名の方が参加し、地震発生時の身を守る訓練、避難所まで移動する避難訓練の他、消火訓練や避難所の設置、炊き出しの体験など、災害時における避難行動をイメージしたものとなりました。



文・写真：総務課防災危機管理対策室

台南古都国際マラソンに参加

3/15

観光友好都市の台南市主催「2015台南古都国際マラソン」に市選手団を派遣しました。8月に開催された第9回日光杉並木マラソン大会で優秀な成績を収めた市民の皆さんが選手団として参加し、ここでも上位入賞の好成績を収めました。台南市への表敬訪問も行い、スポーツや観光を通して友好を深めました。



文・写真：スポーツ振興課

ランチョンマットの寄贈

3/25

JAかみつがから、市内の小学校に入学する全ての新1年生へランチョンマットの寄贈がありました。
安心で安全な県産の農畜産物をたくさん食べて、大きく健やかに育ってほしいとの願いから贈られたものです。
新1年生はランチョンマットを給食時に使用し、たくさんさんの栃木県産食材を食べることでしょ。



文・写真：学校教育課

学用品の寄贈

3/25

日光市危険物保安協会は、市内の全ての新入学児童へ学用品を寄贈しました。
幼少期から防災意識の高揚を図ることが重要であるとの考えにより、昭和50年から継続して実施しています。今回は、人気アニメキャラクターのイラストが入ったクリアファイルを送りました。



文・写真：消防本部予防課

イメージ回復のために

3/26

東日本大震災により影響を受けた福島県相馬市の復興交流推進委員会のメンバー8名が市を訪れ、相馬市の米や魚・野菜などのおいしさと安全性について説明がありました。メンバーからは、「ハード（復興住宅など）は整備されてきたが、ソフト（風評被害）はまだまだ」と、イメージ回復に向けて協力依頼がありました。



文・写真：総務課

身近なニュースを募集しています

まちのほっとニュースでは、皆さんから記事の投稿を募集しています。
募集する記事 自治会の催しや、地域のちよつと珍しい出来事、心温まるエピソードなど
※内容によって掲載できない場合があります。
応募方法 記事に写真を添え、住所・氏名・電話番号を明記の上、持参または郵送、メールでご応募ください。

○記事：140字程度（題名、日付、場所を別に記載してください）
○写真：紙焼きしたもの・デジタルデータどちらでも可能です。ただし、携帯電話のカメラで撮ったものなど、大きくした際に画像が荒れてしまうものは不可とします。
あて先 〒321-1129 2今市本町1番地
日光市役所 企画部
秘書広報課 広報広聴係
メール nishokouhou@city.niko.lg.jp